

ジョン・メイナード・ケインズは、経済の本質を捉えるたとえ話を多く残している。その中でも、美人投票の話は今でもいろいろな局面で出てくる。

外国為替市場は美人投票のような面があるという。美人投票とは、壇上の女性の中から一番美人だと思っ人に、各自が記名投票をする。一番多くの票を集めた人に投票した人が賞金をもらうというゲームだ。このゲームで勝つためには、自分が美人と思う人に投票するのではなく、多くの人が投票するだろうと思われの人に投票することだ。つまり、その場の流れを読むことが重要となる。



伊藤元重の

## ニュースな見方

為替市場にも似たところがある。米国の金融引き締めが予想されたら、為替レートの動きをどう動かすか。ドル高の方向に動くはずだ。しかしどうもそうでもない。

金融引き締めで米国の経済が失速する可能性がある。あるので、円高・ドル安の間、70%も上昇し、その間、驚くほど日本経済のことが知られない、というの

# 安定には成長の確信を

だという見方がかかんに出されている。美人投票の原理が成り立っている。市場の多くの人がその考えをいつかは、自分もそ

## 流れに乗る移り気市場

ば、それに多くの人が乗る。逆売りが見れば、今後はそちらに乗ってしまう。アベノミクスが世界的に注目されていることもあって、多くの投資家やジャーナリストが海外からやってくる。彼らの話を聞いてい

も市場の大勢を決める見方に乗るしかない。市場が円高なら、円高に乗るしかない。それが美人投票の世界の合理的な投資行動なの

日本経済にとっては、株価、金利、為替レートが大きく変動することは好ましいことではない。調に成長し、それが財政健全化にもつながるとい

長と財政健全化の好循環を確保することが、日本経済が持続的に成長する上で必須の条件だ。

実体経済がそうした確実な成長経路に沿って動くという確信を市場に与えることが、最大の市場安定要因となる。

中には日本のことをよく理解している投資家もいる。為替レートや株価に影響を及ぼすが金融政策の

（東大大学院 経済学専攻教授）

\*この記事は日本経済新聞社の許諾を得て転載しています。